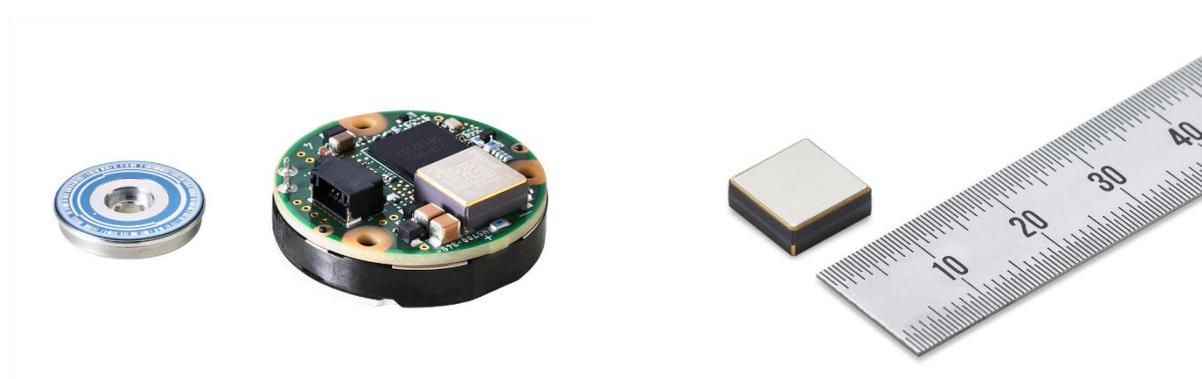


2023年11月20日
マクセル株式会社

マクセル 全固体電池「PSB401010H」がニコンの「多回転アブソリュートエンコーダ」に採用 耐環境性^{*1}が評価され、機器の動作温度範囲拡大に寄与



全固体電池を搭載した多回転アブソリュートエンコーダ(左)、全固体電池「PSB401010H」(右)

マクセル株式会社(取締役社長:中村 啓次/以下、マクセル)が製造するセラミックパッケージ型全固体電池「PSB401010H」が、株式会社ニコン(社長執行役員:馬立 稔和/以下、ニコン)が開発した、多回転アブソリュートエンコーダ^{*2}「MAR-M700MFA」に採用されました。

アブソリュートエンコーダ「MAR-M700MFA」は、2023年11月29日～12月2日に東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催される「2023 国際ロボット展:iREX2023」のニコンブース(東7ホール「E7-59」)にて展示されます。

本採用は、マクセルのセラミックパッケージ型全固体電池「PSB401010H」(標準容量 8mAh)の、リフローはんだ付けによる表面実装が可能^{*3}な点および機器動作温度 105°C まで使用可能な耐環境性^{*1}が評価されたものです。

マクセルは、これからもアナログコア技術を活用し、多くの社会課題を解決するため、既存の電池では使用できなかった領域の用途にも使用できる、長寿命、高耐熱、高出力、大容量の4つの軸で、高性能で信頼性の高い全固体電池の開発を進めていきます。

*1 耐環境性:電池の使用温度範囲については、マクセルの全固体電池 Web ページにて詳細をご覧ください。

https://biz.maxell.com/ja/rechargeable_batteries/allsolidstate.html

*2 アブソリュートエンコーダ:自動車製造ラインの産業用ロボットや工作機械など、産業機械に幅広く利用され、ロボットアームなどの回転変位を絶対値で検出することができるセンサです。

*3 リフローはんだ付けによる表面実装が可能:最大温度 245°C でのリフローによって容量や負荷特性などの基本特性に劣化は見られない。

■商標

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

■全固体電池 Web ページ

https://biz.maxell.com/ja/rechargeable_batteries/allsolidstate.html

■全固体電池に関するお問い合わせ先

マクセル株式会社 営業統括本部

お問い合わせフォーム:

https://biz.maxell.com/ja/rechargeable_batteries/inquiry_form_input1.html

以上

ニュースリリース、お知らせに記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、
発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日時点のものです。

予告なしに変更され、発表日と情報が異なる場合もありますので、あらかじめ
ご了承ください。
